

2014年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	生涯スポーツⅡ						
科目区分	人間形成科目	単位数	1	開講時期	後期		
必修・選択の別	選択						
担当者	内田勇人						
授業の到達目標 (シラバスから)	ゲームを通して仲間との交流を楽しめるようになる。						
日程と内容	①9月15日：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価の方法 ②9月22日：基本練習Ⅰ：対人パス・トス ③9月29日：基本練習Ⅱ：スパイク・サーブ ④10月6日：基本練習Ⅲ：ブロック ⑤10月20日：応用練習Ⅰ：サーブレシーブ ⑥10月27日：応用練習Ⅱ：円陣パス ⑦11月10日：応用練習Ⅲ：移動パス ⑧11月17日：視聴覚授業：バレーボール実技ビデオ ⑨11月24日：ゲーム形式練習Ⅰ：チーム編成 ⑩12月1日：ゲーム形式練習Ⅱ：サーブ・レシーブ・スパイク中心/試合形式中心 ⑪12月8日：ゲームⅠ：リーグ戦、審判法 ⑫12月15日：ゲームⅡ：リーグ戦 ⑬12月22日：ゲームⅢ：トーナメント戦 ⑭12月23日：ゲームⅣ：トーナメント戦 ⑮1月19日：ゲームⅤ：トーナメント戦 ⑯1月26日：試験、個人技能の評価、他者との連携技能の評価						
成績評価基準	定期試験	0%	実技	100%			
	臨時試験	0%	部外評価	0%			
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%			
	課題	0%					
	演習	0%	計	100%			
授業到達目標の達成度	概ね達成できた。						
反省点	受講生一人一人の技術に応じた指導を心掛けたが、受講生全体への指導になってしまった部分があったかも知れない。この点が反省点である。						
来年度の計画	バレーボール技術を身につける上で、特に重要になる「基礎練習」に重きを置きつつ、ゲームを中心とした「楽しくからだを動かす」ことにも配慮した指導を心掛けたいと考える。また、同じチーム同志の声の掛け合い、協調行動、コミュニケーションの取り方、不可抗力で接触してしまった際の謝り、等の声掛け等を促す授業を展開していきたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	「内容」「説明」「話し方」「資料提示」「教員の態度」「シラバス」「教員の授業準備」「教員の熱意」等、全ての項目が4.5点以上であり、高い得点であった。総合得点も高く、高い評価であった。受講生個人の具体的なコメントとして、「多くの人がボールに触れる機会があった」「女子だけど一度やってみたかったです。男子とやると力の差があるなと感じたけれど楽しかったです」「とても楽しかったです」「先生が優しい」等があった。これら受講生からの評価をもとに、来年度はより一層、受講生にとって充実した授業になるように努力していきたいと考える。						
履修登録者数	45名	定期試験 受験者数	41名	合格者数	41名	合格率	100%